

【プログラム1：聞いて！話して！友達のこと、自分のこと】

《形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ》

時間	形態	講座の流れ	
1分	全	1. ねらいを確認する。 [キーワード] ○コミュニケーション	【1分】
22分	全	2. サイコロを使って自己紹介をする。(さいころトークをする) (1) 方法と注意事項を知る。〈1分〉 ○サイコロの目の数ごとに指定した話題2つから1つを選び、それについての話題を1つ話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 《注意事項》 ○話せる範囲で話す。 ○話題のどちらか話しやすい方を選んで話す。 ○1人の話が長すぎないようにする。(1回の発言は30秒程度で) ○誰かが話しているときは、しっかり聴く。 (相手を見る、うなずく、微笑む、否定しない、あいづちを打つ等も含む) ○誰かが話し終わったら、拍手をする。 </div>	【8分】
	G	(2) グループごとに始める。〈7分〉	
	G	3. 自分たちのグループの共通点を全体に紹介する。 (1) 自分たちのグループの共通点を話し合い、シートに記入する。	【11分】
	全	(2) 全体に発表する。 ※シートは、後日、教室等に掲示する。	
	全	4. 活動の感想を紹介する。	【3分】
2分	全	5. まとめ <div style="border: 1px solid black; border-style: dashed; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・お互いを知るにはコミュニケーションをとることが大事であり、知ることによって、お互いが身近に感じられるようになったのではないか。 ・お互いに考えや思いが共通することと、違うことがあるが、「同じことも違うこともどちらもあっていいんだ」という気持ちをもってほしい。 ・同世代の友達とは、喜びや悩みを共有できる。悩んだり不安だったりするときは、一人で抱え込まないで誰かに話してほしい。 ・これまでより社会が広がる高校(中学)時代なので、友達関係を広げ、お互いのつながりを深めようとする気持ちをもつことが大事だ。また、初対面の人と話すとき、どのような話題だと会話が弾むかを考えることも大事なことだ。 </div>	【2分】

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・身近に自分のことや子どものことを話せる間柄の友人や知人がいることは、自分にとってとても心強いことである。交友関係を築いていくときに、自分の趣味や特技等、話しやすい話題から話すと親しみやすく感じるので役に立ててほしい。